９　外国語

学校番号	T2101

平成３１年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語基礎（※）	2	2	JOYFUL　English Communication Basic

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語基礎の授業では英語の基礎からはじめ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランス良く学習する授業です。英語の基礎的な内容を学習して、それを使ってコミュニケーションがとれることが目的です。ペアワークやプレゼンテーションなどの活動がありますので積極的に参加して英語を習得しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【１～４年次】履修科目：「コミュニケーション英語基礎」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	インタビューテスト スピーキングテスト	趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて書くことができる。	単語テスト 定期考査	ゆっくり、はっきりと発音される、基本的な語句や表現からなる簡単な英文の内容をおおまかに聞き取ることができる。	リスニングテスト 定期考査	活用単語短章解で使生で文理るがる。日常でれ語いをすとき	リーディングテスト 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	英語でコミュニケーションをとることに関心をもち積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で	Can-do リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	Can-do リストによる「聞くこと」「話すこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Warm up (30 時間)	アルファベット ローマ字 辞書の使い方 教室で使う英語	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		アルファベットや日常で 使う英語に関心を持つ。 辞書を使うことに 関心を持つ。	ワークシートを使って単語を正確に書き、練習する。 ワークシートを使ってリスニングやペアワークを行う。	ペアワークやグループワークにおいて互いに協力しながら学習する。 説明を聞きワークシートを完成させる。	グループワークの参加状況 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「外国語表現の能力」			
		アルファベット、ローマ字を使って単語を正確に書くことができる。場面に応じて適切に英語で表現できる。 辞書の使い方を学ぶ。	アルファベット、ローマ字、簡単な単語を書いたり発音できる。 教室で使われると思われる英語の表現を学習する。	アルファベットや単語を正確に発音をすることができる。 アルファベット、ローマ字、単語を正確に書くことができる。	発音テスト ワークシートの完成度で取り組み状況を判断 定期考査
		「外国語理解の能力」			
		発音されたアルファベットや単語を正確に聞き取ることができる。 簡単なクラスルーム英語を理解すことができる。	アルファベット、ローマ字、簡単な単語を読んだり聞いたりできる。 辞書に掲載されている内容が理解できる。	アルファベットやローマ字、簡単な単語を正確に読むことや聞き取ることができる。 単語を辞書で調べることができる。	リスニングテスト ワークシートの完成度で取り組み状況を判断 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		アルファベットの大文字小文字を理解する。 身近な英単語とカタカナ語の違いを理解する。	アルファベットの大文字小文字を区別して書く。 クラスルーム英語を状況に応じて使う。 ローマ字と英語の違いを学ぶ。	アルファベットの大文字小文字を区別してローマ字を書くことができる。 教室で使われる語を理解している。	固有名詞を含む単語テスト ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
Lesson 1 (20 時間)	We choose 一般動詞 動物と人間の違い	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		人間と動物の違いについて関心を持つ。 動詞を学習することに積極的である。	ペアワークを行い、英語の動詞を学習する。 ペアワークやグループワークで人間について話す。	ペアワークを行い会話練習をすることができる。	ペアワークの参加状況
		「外国語表現の能力」			
		一般動詞を使って表現することができる。	一般動詞を使った文章を書く。 一般動詞を使った文章を話す。	一般動詞を使った文章を書くことができる。 ペアワークを行い一般動詞を使った文章を話すことができる。	ペアワークの参加状況 発表の観察 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「外国語理解の能力」			
		be 動詞、一般動詞を使った表現を理解する。 英語でされた自己紹介を理解することができる。	ｂｅ動詞、一般動詞を使った文章を読み聞きし、内容をおおまかに理解する。	ｂｅ動詞、一般動詞を使った文章をおおまかに理解できる。	定期考査 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「言語や文化についての知識・理解」			
		地球規模の中での人間について紹介する。	ペアワークで地球規模の中での人間について英語で学習する。	地球規模の中での人間について理解できている。	ペアワーク発表の参加状況 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断